



No. 152 2023. 10  
 (株) よかネット

NETWORK

- 日田彦山線 BRT「ひこぼしライン」祝開業 ..... 2
- 皆様から寄せられた「よかネット」へのご意見、近況などの紹介 ..... 6

見・聞・食

- 八女市上陽町芋焼酎プロジェクト研修旅行  
 ～「やねだん」と「神川酒造」訪問～ ..... 7

近況

- 一斉に水槽から魚を掬いあげる楽しい志賀島・弘の夕市 ..... 11
- 阿蘇の秋と夏の景色を味わう ..... 11
- 身の回りの防災対策を ..... 12
- アルパック業務報告会の開催 ..... 13
- 最近の北海道松前町は、福岡市よりも暑い ..... 13

表紙解説

- ..... 14

新人紹介

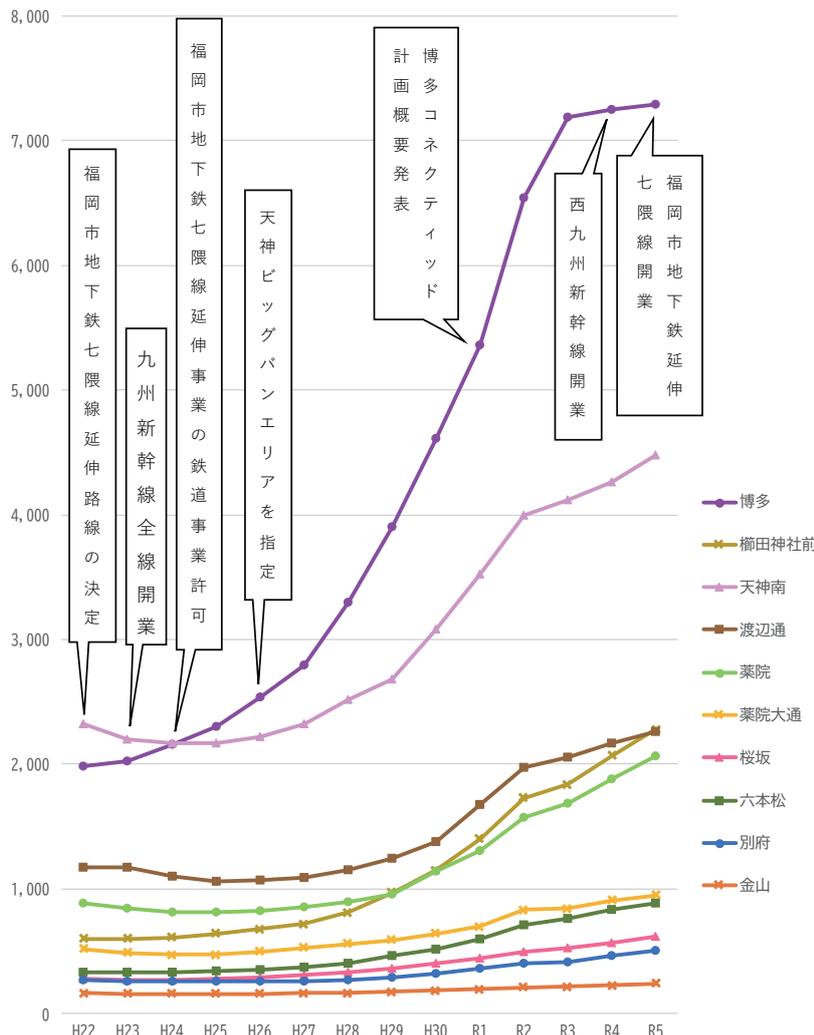
- ..... 15

お知らせ

- 勝馬ルシェ開催 in 志賀島 ..... 16
- 「よかネット」の発行について ..... 16

●福岡市営地下鉄七隈線の駅周辺の路線価は博多駅が圧勝

七隈線駅周辺の路線価の推移 単位：千円



福岡市営地下鉄七隈線の博多駅までの延伸が決定した H22 年から R5 年までの各駅周辺の路線価を調べてみた。グラフは R5 年の上位 10 駅を抜粋している。博多駅まで延伸して便利になった七隈線沿線の開発需要が高くなり、土地の値段も上がっているのではと予想した。

H22 年は博多駅より天神南駅の方が高かったが、H25 年以降は博多駅の 1 人勝ちとなっている。

H25 年以降は 18 駅すべてが維持もしくは上昇しており、特に別府駅～博多駅は約 2 倍～4 倍近くになっている。

七隈線延伸の許可が出た H24 年からの伸び率をみると、櫛田神社前駅は、約 3.7 倍になっている。

天神ビッグバン、博多コネクティッドもあり、しばらくは上昇すると思われる。(表紙解説 14 頁)

路線価：国税庁が公表している路線(道路)に面する土地の 1㎡当たりの価額

※駅付近同一地点の価額を抽出

## 日田彦山線 BRT「ひこぼしライン」祝開業

山崎 裕行

### ●日田彦山線 BRT の概要

平成 29 年 7 月の九州北部豪雨により被災し、不通となっていた JR 日田彦山線添田～夜明・日田駅間が、BRT によって復旧することが決まり、令和 5 年 8 月 28 日（月）に開業しました。待ちに待った開業です。「日田彦山線 BRT」の愛称は「BRT ひこぼしライン」、日田彦山線沿線の地域の想いを乗せ、未来に向け駆け抜けていく「日田”彦”山線の”星”」となるように願いを込めて命名されたそうです（JR 九州 HP より）。走行区間は、添田駅～夜明・日田駅で約 40k m、このうち、約 14 kmが専用道区間となっており以前の鉄道敷の跡を走ります。

鉄道時代と比べて、所要時間は 40 分（添田から日田間）ほど増えましたが、便数は 1 日 22 便から 32 便と約 1.5 倍の運行本数に、停車数も 12 駅から 36 駅と 3 倍に増え、便利で利用しやすくなっています。また、添田駅では列車と BRT を同じホームで乗り換えることができ、鉄道から BRT へのスムーズな乗換が可能となっています。なお、添田駅内には西鉄バスも乗り入れており、鉄道から西鉄バスも同様に乗換が可能です。

車両は小型電気バスが 4 台と、中型のディーゼルバスが 2 台の計 6 台となっており、添田町、東峰村、日田市の特色に合わせたカラーリングが施されています。また、各座席には USB 充電ポートが整



日田駅でのバス待ち

備されています。詳しくは JR 九州の日田彦山線 BRT「ひこぼしライン」HP をご確認ください。（アクセス日 20230907：<https://www.jrkyushu.co.jp/train/hikoboshiline/>）

### ●早速乗ってみた

開業日の 8 月 28 日（月）に、早速乗ってみました。私は、仕事の都合もあって日田から添田間を往復することにしました。

当日は、雨が降ることも無く、晴天の中での開業です。近くに住んでいるならば、「開業当日の最初の便に乗る！」をめざしたかもしれませんが、さすがにそれは難しく、日田発 7 時 20 分の添田駅に乗車しました。私が乗ったのは小型の棚田カラーの電気バス（定員 25 名、座席 17 名）で、日田駅から乗車した人は私を含めて 10 名程です。いずれも、カメラや連絡切符を持っていたところを見ると、地元の人というよりもファンの方であったと思います。

このバスは、日田から添田へ向かう第 2 便で、8 時 52 分に添田着となっています。ちなみに日田の第 1 便は 6 時発、添田から日田の第 1 便は 6 時 25 分発となっています。

### ●「まちなか」から「農村」への変化を楽しむ 日田～宝珠山間

日田駅を出るとしばし日田の市街地を走り、国道から少し外れて最初の停留所である光岡駅へ。こちらは久大本線の駅でもあり、駅前に停留所が設置されています。駅前のスペースがあまりないため、バスは一度バックして停留所に停まります。光岡駅を出ると、再び国道に戻り南友田駅、北友田駅を経て、夜明駅へ。こちらも久大本線の駅で、駅自体は国道から階段を登ったところにありますが、停留所は国道沿いにあります。鉄道時代は、この夜明駅から分岐して東峰村、添田町方面に線路が続いていました。夜明駅で乗降があり、座席はほぼすべて埋まる状態となりました。

夜明駅を出ると、直ぐの交差点を右折し、東峰村



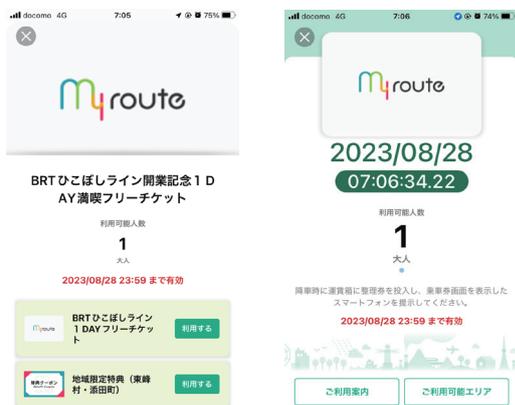
BRT 路線図  
(出典：JR九州 HP より)

※駅名を□枠で囲んだ駅は、「平成29年7月九州北部豪雨」被災前の鉄道駅です(添田駅、夜明駅、光岡駅、日田駅を除く)

方面に続く国道 211 号を走ります。ここからは、集落内の停留所に立ち寄りながら、徐々に山道へと進んでいきます。祝原駅、上村駅、小鶴駅、釘原駅と進み、鉄道時代に駅があった今山駅へ。ここは少し国道から離れたところにあります。今、整備が進められているようでしたが、ホームの跡と線路の跡を確認できます。再び国道に戻り、伏尾駅、法司口駅、大明小中学校前駅へ。このあたりから、外を見渡すと田畑の広がりを確認できます。そして、鉄道時代に駅があった大鶴駅へ。大鶴駅の停留所は、以前の鉄道駅とは離れた国道沿いに設置されています。大鶴駅を出ると、名本駅、竹本駅、吉竹駅を経て宝珠山駅に到着です。吉竹駅までが日田市で、宝珠山駅からは東峰村となります。宝珠山駅の停留所は、元の駅舎を活用しており、木造の趣のある駅舎が建っています。BRT はここから専用道区間を通して添田町の彦山駅まで行くことになります。宝珠山でも乗降があり、車内は座れない客が出るほどの満員となりました。

●「農村景観」から「自然景観」への変化を楽しむ宝珠山～彦山間

宝珠山駅を出発すると、いよいよ専用区間を走行



当日は、こちらの切符を利用。日田～添田間の片道料金で一日乗り放題

します。専用道区間は、バス一台が通れるようになっており、軽快に走り抜けます。鉄道駅があった大行司駅、そして筑前岩屋駅と進むのですが、乗車した時には、是非、左手をご覧ください。専用道は、地面よりも高い所を通るため、美しい棚田の様子を眺めることができます。「日本の棚田百選」に選ばれた竹地区の棚田は、BRT からは残念ながら見ることができませんが、他の地区の田んぼが段々に広がり、その奥に英彦山の山並みが見える風景は感動します。春から秋にかけてはお米が育つ様子を、冬はひよっとしたら雪が積もり白く輝く田んぼを見ることができのかもしれませんが。

大行司駅は昔のホームを活かした停留所、筑前岩屋駅は元の駅舎を活用した停留所となっています。大行司駅、筑前岩屋駅で乗降がありましたが、変わらず満員のままでした。筑前岩屋駅を出発すると、直ぐに釈迦岳トンネルに入ります。全長約 4300 mあり、宝珠山駅からずっと上り道であったのが、途中で下り道へと変わります。下り道に変わったところから添田町です。

釈迦岳トンネルを出ると、直ぐに全長約 400m の深倉トンネル、そして大きく右に曲がり、添田町に入っ



美しい棚田の景色



深倉駅直ぐ横の窯元（別日撮影）

て最初の停留所、深倉駅に到着です。ここで数名の乗降がありましたが、相変わらず車内は満員です。日田方面から右手には、現在唯一造っている「英彦山がらがら」の窯元があります。英彦山がらがらは、素焼きの土鈴で、英彦山参拝のお土産として広まったものです。その歴史は、奈良時代まで遡るそうで日本最古の土鈴と言われています。現在は、魔除け・虫除け・災害避けの意味があり、玄関や勝手口などに飾ります。

深倉駅を出発すると、左手の深倉川と並走しながら彦山駅へ。途中、戦後直ぐに旧陸軍の火薬を焼却処理しようとしたところ大爆発を起こして多数の死傷者を出した二又トンネル爆発事故の現場を通ります。今でも山が吹き飛ばされた跡を確認できます。彦山駅の停留所で、ようやく満員状態は解消されました。鉄道時代の旧彦山駅舎は、木造のどっしりとした建築でなかなか趣のあるものではありませんでしたが、BRTの整備に合わせて取り壊され、地域の防災及び観光案内機能を備えた施設として新しく建築されました。ここ彦山駅は、英彦山への入口でもあり、東峰村の小石原方面へ向かう道の分岐点でもあって、添田町の南の玄関口といえます。ここから、町バス（ひこさんルート）に乗り継いで、英彦山へ向かうことができます。宝珠山から続いた専用道区間は彦山駅までで、この後は、再び一般道を走ります。

#### ●「中山間地域」から「まち」への変化を楽しむ 彦山～添田間

彦山駅を出発すると、県道沿いの農村集落を見ながら進んでいきます。旧英彦中学校前駅、屋形原駅、



鉄道時代の旧彦山駅舎（別日撮影）

下落合駅、柳原駅を経て、鉄道時代に駅があった豊前栴田駅へ。ここは今でもホームの名残を見ることができます。豊前栴田駅を出ると、貴船橋駅、そして、鉄道時代に駅があった歓遊舎ひこさん駅へ。ここは「道の駅歓遊舎ひこさん」に併設する形で駅がありましたが、BRTになっても同施設の敷地内に停留所があります。道の駅では、添田産の新鮮な野菜や、それらを使った加工品、「めんべい」や「バナナようかん」、「英彦山サイダー」など、添田ならではのお土産を購入することができます。また、併設して、森林を活かした体験型レジャー施設の「フォレストアドベンチャー添田」が今年4月29日にオープンしました。受付棟は、旧駅舎を改修しています。他にも、小さいお子さんが遊べる「こどもわくわくパーク」もあります。

歓遊舎ひこさん駅を出発すると、野田駅、塚原駅、細川（医院前）駅を経て、終点の添田駅に到着です。一つ前の細川（医院前）駅は、文字通り、病院の玄関口に停留所があるので、通院される方にとっては非常に便利だと思います。また、添田駅も鉄道と同一平面で乗り換えが可能ですし、西鉄バスも、町バスも乗り入れる（ただし、町バスのバス停は、少しだけ離れたところにあります。）ので、他の交通機関への乗り継ぎも円滑にできます。

添田駅には、JR九州の添田支店やBRTの車庫があり、電気バスの充電施設も、日田と比べると充実しています。

#### ●地域住民の利用を促す何らかの工夫は必要

今回、私は添田発9時40分のBRTで日田へ戻り



添田駅での開業式典の様子

ましたが、添田駅で開業のセレモニーがあり、また、大行司駅では東峰村の方のお出迎えがあったほか、沿線で多くの人が手を振り、歓迎する様子を見ることが出来ました。その一方で、主たる停留所を除くと、乗降する人はほとんどいません。多くの人が添田～日田間を通して乗っていました。開業日ということで、多くの人が来て乗車することが予想され、地域住民の皆さんが利用を控えたという見方もできると思いますが、停留所周辺の状況を見ると、目的地となる施設等がある場所は限られているし、人口もそれほど多くない地域です。

例えば、添田駅や歓遊舎ひこさん駅、彦山駅、日田駅など買い物、通院だけでなく、観光・余暇などで目的地となりえる場所と連携した企画乗車券、公共交通機関を乗り継ぐことを前提とした利用方法の提案（例：BRT → 町バス → 商業施設 or 福祉・医療機関）などが考えられます。添田町については、添田駅でJR、西鉄バス、町バスがBRTの出発・到着時刻に出来る限り合わせる形でダイヤを組んでいます。これは各事業者が努力した賜物で、結構凄いことだと思います。これを活かした移動方法を提案することが必要ででしょう。各交通事業者で利用できる周遊券や、通勤・通学定期購入の補助なども考えられます。自家用車中心の町であるからこそ、公共交通を積極的にまちづくりに取り込んでいかないと、せっかく誕生したBRTも長続きしないでしょう。

#### ●来訪者に利用してもらうための仕掛け

日田彦山線BRTの沿線は、どこも人口減少、高齢化が進む地域です。BRTで採算をとるのは当初より



BRTとJR、西鉄バスが同一ホームで乗り換え可能

難しいという判断がされているかと思います。それでも、維持していくには、一定の利用者は必要であり、その際、日常利用者もさることながら、如何に来訪者に利用してもらえるかが課題となります。大行司駅周辺の美しい田園風景、英彦山を望む自然風景、霊峰・英彦山、自然体験型レジャー施設、3市町村にそれぞれある温泉、日田市豆田の古い町並み、沿線の各集落の風景、それぞれ地域で手塩にかけて育てた米や野菜、それらを使った味噌や豆腐などの加工品、名水100選に選ばれた岩屋湧水、明治期から続く造り酒屋などなど、沿線には魅力的な資源が数多くあります。

「観光」の重要性は、これまでも指摘されてきましたが、実は、そこまで力を入れてこなかったのではないかと。「それぞれで」ではなくて、添田町、東峰村、日田市が県を超えて連携して、これら地域資源を活かして取り組むことが求められていると思います。魅力ある資源を組み合わせ、満喫できる日帰りプラン、一泊二日プラン、二泊三日プランを作れないかなと思います。

開業から1か月程度は、物珍しさに乗りに来る人はいると思いますが、その後が本当の勝負のはじまりです。添田駅では開業の前日、地元有志の方が、「添田駅BRT開業前夜祭」と称して、みんなで盛り上げていくための機運づくりをされていました。子どもから大人まで集り賑わっていました。このような機運醸成、地域の方の想いはとても大切だと思います。問題は、開業後もこのような勢い、想いを保持できるかどうかです。

利用者の維持、減少抑制に向けて、あの手、この手を尽くすためのお手伝いを、引き続き行っていきます。  
(やまさき ひろゆき)

皆様から寄せられた「よかネット」  
へのご意見、近況などの紹介  
(敬称略)

■(株)三松のロボット開発をメインとした新組立工場(SID-E7 サイドセブン)が本年6月に竣工・稼働いたしました。

(筑紫野市 田名部 徹朗)

■長崎市の斜面地とりわけ浪の平(南山手)地区のまちづくりに力を入れています。県が実施している2バース計画への注文付、世界遺産空中散歩コースと小学校跡地ひろば化計画の具体化、空家・空地活用の実例を集めた書籍化などに取り組んでいます。

(長崎市 鮫島 和夫)

■いつも採り上げる題材が良いですね。自分の身近に生じた出来事や体験を見逃さず、焦点をあてているからだと思います。続けられていることに敬意を表します。

(春日市 藤原 正教)

■昨年同様、近況というより最近の想いです。タモリの「新しい戦前」やグテーレスの「地球沸騰化」という言葉が「今」という時代をよく表していると思う。日本人に限れば、この状況に対して「怒り」が全く足りない。三木清「人生論ノート」の「怒について」の一節を想起する。「切に義人を思ふ。義人とは何か、——怒ることを知れる者である」と、1930年代末に彼は書いた。

(福岡市 江上 徹)

■私はタワーマンションについて一部の富裕層の金をはき出させるには良いですが、国家の蓄積としてはムダを行っていると考えています。主構造はもっても配管配線、サッシ取り付け部など至るところ安全性が担保されていないと思います。是非いわゆるタワーマンション特集を組んで載せたい。地に足がついていない住まい方

といった感傷論ではなくお願いします。

(福岡市 西岡 弘)

■いつも地域のリアル記事をありがとうございます。安定から流動に大きく変化した現代において、マクロ減少の背景の、人々の意識変化、行動変容へのまなざしがこれまで以上に重要になってきているように思います。

(糸島市 坂口 光一)

■柳川にCafé 帰去来というスープがおいしい店があります。帰去来は、北原白秋が望郷の念を詠んだ詩碑があります。私が小6の時にでき、歌わされたので今でも誦んでいます。この中の「火照染む夕日の瀉」をいつまでも残したいと、野鳥の会や矢部川をつなぐ会をやっています!

(久留米市 松富士 将和)

■No151 福岡市の夜の風物詩「屋台」を通して、福岡市生まれの廣末登氏の「テキヤの掟」(2023.1.10 初版(株)角川新書発行)と重ね読みしました。

(豊岡市 金子 輝雄)

■沖縄県を「琉球」と呼び変える事を希望しています!!

(那覇市 備瀬 知伸)

■地域の観光振興事業の参考とさせていただいています。疲弊していく地域にかすかな光となることを期待します。

(福岡県広川町 樋口 安彦)

■江戸時代から近代明治へと、その歩みを進めた先祖は、ハード(物)でもソフト(情報)でもなく、どうやら近代医学のようであります。

(熊本市 豊田 謙二)

■今夏は、九州は大雨が多く、極地的には災害にもなって大変ですね。東京は今迄経験したことがないような猛暑で、参っています。今回の中洲の屋台分析や鶴丸城城門の記事は、よかネットならではの情報で興味深く読ませて頂きました。当方リタイア後は、オーケストラ(VC)と友人の会社の手伝い位で刺激に乏しい毎日ですが、コロナ禍で益々行動が不活発化しています。

(東京都世田谷区 寺島 清)

■五年ほど前、うきは市の吉井町の古い家並みを見に行った。この地区では毎年複数棟の古民家修復をやっていて、時々見に来るたびに綺麗な

家並が拡大していた。修復された町屋などの街並みが徐々に広がってはいるが、町屋として使われ賑わっている感じがしなかった。と、思っていたが、先日ネットで見ていたら、行列のできるパン屋さんや、レストラン、カフェが増えてきているらしい。ここにきて、ようやく賑わいが出てき始めたようだ。見に行かねば。

(小都市 大渡 剛弘)

## 八女市上陽町芋焼酎プロジェクト 研修旅行

～「やねだん」と「神川酒造」訪問～

山田 龍雄

八女市上陽町芋焼酎プロジェクト(以下「芋焼酎プロジェクト」という。)とは、上陽町の休耕地を活用し、地元と都市住民と一緒に原料となるサツマイモ(コガネセンガン)を栽培し、焼酎造りを行う取組みである。その焼酎「環(かん)」の販売収益の一部を「地域の豊かさ基金」として積み立て、上陽町のまちづくりを応援する助成金として活用している。

芋焼酎プロジェクトは、2010年(平成22年)の国土交通省のモデル事業「過疎地域の安心・安定の暮らし維持構想」に(NPO法人)グラウンドワーク福岡が上陽町をモデル地域として応募し、採択を受けたことから始まる。弊社が計画づくりのお手伝いをし、地元の人たち10数人とワークショップをした際、「休耕地をなんとかしたい」という意見があげられた。私は「やねだん」のことが思い浮かび、「休耕地に芋を植えて、焼酎でも造りませんか?」と投げかけると、参加者の賛同も得られ、上陽町のブラン



飲むほどに酔うほどに地域が豊かになる焼酎～「環」

ド焼酎造りの事業企画がスタートした。翌年の2011年(平成23年)からコガネセンガンを植えはじめ、今年で12年目を迎える。芋焼酎プロジェクトでの栽培や収穫祭の様子は同機関紙「よかネット」に数回、掲載している。

### ●台風6号が近づくなか視察決行

今回の芋焼酎プロジェクト研修では、芋苗を仕入れている「高井田アグリ(鹿児島県曾於郡大崎町根占田)」での芋栽培及び「やねだん」のむら起こしの研修をメインとし、他に大隅半島内の名所巡りを予定していた。8月6日、7日の1泊2日で視察先やホテルへの連絡など準備万端で旅行日が来るのを待っていた。しかし、中国大陸へ直進する予定の台風6号が8月1日頃から急に進路を変え、7～8日には大隅半島に上陸するとの予報が出された。その日以来、毎日台風情報を見て、いつ中止するか、決行するのかを迷う日々が続いたが、8月3日の夜には台風の色度が速くならない限りはぎりぎり大丈夫ではないかと判断し、6日予定していた大隅半島の景勝地訪問を取りやめ、研修先視察のみに変更し、研修旅行を決行した。参加者は7名。この視察旅行を最も楽しみにしていた芋焼酎プロジェクト実行委員会事務局局長は急な体調不良のため不参加となった。残念ながら目的地の一つであった「高井田アグリ」には、先方の都合もあり、訪問は叶わなかった。

### ●1日目の「やねだん」は3時間の研修

「やねだん」とは鹿児島県串良町(現鹿屋市)の柳谷集落、地元では「やねだん」と言う。約100世帯、250人の集落である。ここは行政に依存しない自治を目指し、集落で稼げる取組みを行い、2007年



3時間、お話と現場視察をしていただきました。81歳の豊重公民館館長



土着菌センターで発酵している土着菌、これを畑に入れることで野菜等の生育がよくなる

(平成 19 年)には「あしたのまち・くらしづくり活動賞～内閣総理大臣賞」、2018 年(平成 30 年)には総務省の「ふるさとづくり大賞」の最優秀賞など地域活性化に関する様々な賞を受賞している。

私は 2007 年(平成 19 年)に「(協同組合)地域づくり九州」のメンバーと一緒に訪問し、「やねだん」の公民館館長で地域のリーダーである豊重哲郎さんの話に感銘を受けた。

今回の研修では「芋焼酎プロジェクト」のモデルとなった「やねだん」は外せないと思い、台風の上陸が早まることを考え、急ぎよ、2 日目の「やねだん」研修を繰り上げ、1 日目の午後からとした。当初の計画では「やねだん」研修は 1 時間半程度しか組んでなかったのだが、変更したおかげで 3 時間たっぷり豊重さんの話や現地を視察することができた。

今年、81 歳になる豊重さんとは 15 年ぶりの再会であったが、昔と変わらず熱心に「やねだん」の活動を説明していただいた。

●「やねだん」は、今でも進化している

私が「やねだん」再訪問で最も気にしていたのは、果たして焼酎づくりなど自主財源確保は維持、継続できているのか、2007 年(平成 19 年)から始まった地域リーダー育成塾「やねだん故郷創世塾」(以下「創世塾」という。)は続いているのかであった。

今でも焼酎「やねだん」を毎年 3,000 本は販売し、韓国にも 1,000 本近くを輸出している。その他に「やねだん唐辛子」などで自主財源の商品を開発し、稼いでいる。「やねだん」は全国でも珍しいと言われている酒造販売許可を集落で取得し、集落で



住民手づくりの「わくわく運動公園」にあるシンボル～焼酎「やねだん」の前で記念撮影

納税している。「やねだん」商品の特徴は、畜産の糞の悪臭除去の研究をしていた鹿児島大学の入来牧場の取組みを導入した土着菌(土着菌を餌と一緒に食べさせると糞の臭いがなくなる)を飼料とすることで質の良い芋やトウガラシを収穫している。無農薬のコガネセンガンであり、焼酎の味も良くなるとのこと。土着菌は山林の落ち葉に付着した菌と米ぬかなどを混ぜ、発酵させたものである。実際に「やねだん」の土着菌センターで発酵している土着菌を触らせてもらうと 40 度以上はあろうかというほど暖かった。

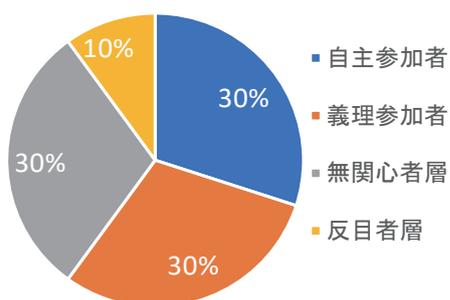
2020 年(令和 2 年)時点、集落で稼いだ財源は累計 7 千万円に上り、10 数年間で 12 世帯が U ターンしているという。豊重さんは休耕地を活用した新たな財源確保のためのアイデアを考えておられ、実証実験中である。この事業が軌道にのれば、安心して次の人に館長をバトンタッチできるとおっしゃっていた。創世塾も今年の 5 月で 33 期となり、これまで自治体職員、大学生から高齢者などを受け入れ、約 1300 人以上の人が受講している。千葉県いすみ市の職員が受講生であり、市に戻って「土着菌」の良さを伝えたところ、いすみ市では 2017 年(平成 29 年)12 月に「いすみ市土着菌完熟堆肥センター」を設立している。弊社で前回の機関紙「よかネット 151 号」で取り上げた雪丸君は、創世塾 1 期生である。

今回の研修で、改めて豊重さんから聞いた話の中で書き留めておきたい言葉を紹介したい。

< 3・3・3・1 の方程式 >

地域活動への関心度は、次図のような割合は概

地域活動関心度合いの方程式



ね共通しているのではないかと思う。無関心層3割、反目者1割を関心層に向けるためには、計画を実践し、地域が変わったという「感動」を生むことが大切である。

#### <地域のリーダーとなる資質>

「リーダーとなるためにはどのような資質、条件が必要ですか?」という問いに対して豊重さんは3つの条件が不可欠であると応えられた。

##### ①人間力の向上

リーダーの前に先ずは人間力。ヒーローになるのではなく、黒子で良いという精神。利己的でなく、利他的に行動すること。

##### ②企画力・財務力

10年先を見据えた企画力、アイデアをもつこと、これには地域での自主財源を確保するという財務力も兼ね備えていること。

##### ③地域の力を引き出す演出力

実践して成功体験、感動体験の演出力が必要である。豊重さんが館長になって最初に取組んだのは地域の最大の不満であった家畜の糞尿の悪臭を除去することであった。この取組みの成功が、ある意味では地域の信頼を得る企画力、提案力、演出力であったのではないかと思う。また、85歳以上の高齢者へ毎年のボーナス支給、「母の日」に有線放送で故郷を離れた子供からの便りの朗読なども感動の演出力なのである。

豊重さんの地域が元気になる稼ぐアイデア力、企画力には本当に感心させられる。

私は、上記の資質3条件の前に地域を何とかしたいという強い意志、パッションがなければ、事業は成し遂げれないと思う。しかし、私も地域活動をし



やねだん未来館でお茶と漬物でおもてなしを受ける

ていてよく分かるのだが、基本的に地域活動はボランティア。豊重さんの言うように「あわてるな、急ぐな、近道するな」の忍耐力が必要であることは日々感じることである。

最後には「やねだん未来館」で豊重さんの奥様からお茶と漬物でのもてなしを受け、焼酎「やねだん」を購入した。

参加者全員が「台風のおかげでやねだんで有意義な研修を受けることができた。」と言ってくれた。今回の視察研修の企画をした甲斐があったと思った次第である。

「やねだん」の取組みの経緯等については「地域再生～行政に頼らない「むら」おこし～豊重哲郎著」に詳しく掲載されている。興味ある方は是非ご購入ください。

#### ●焼酎「やねだん」は神川酒造で造られている

2日目の午前中は神川酒造を訪問。神川酒造を紹介してくれたのは、「環」製造をお願いしている後藤酒造場の後藤社長である。焼酎つながりで縁があったことから神川酒造には事前に訪問することをお願いしてもらっていた。15年前、私が初めて「やねだん」を訪問した時には、どこで焼酎造りをしているのか、聞きそびれていたが、今回、偶然にも神川酒造が造っていることを知り、驚いてしまった。

神川酒造は1963年(昭和38年)肝属郡大根占町(現在の錦江町)の神ノ川沿いで設立している。創業家の山之口家より、当時の小鹿酒造協業組合(現小鹿酒造株式会社)の役員で引継ぎ、1990年(平成2年)に鹿屋市永野田町の工場団地の一角に移転



出版元  
出版企画あさんてさーな

し、現在に至る。

酒造所は、大きな樹木で取り囲まれた緑豊かな場所にあった。使用している水もここの地下水である。

代表の銘柄の焼酎は「照葉樹林」「神川」「瀬(とろ)とろ」である。

神川酒造では、年間500石(1石=1升100本)ぐらいを製造している。

当日は、児玉社長より焼酎造りの現場を案内していただきながら、その工程を詳しく説明していただいた。

焼酎は1次仕込みと2次仕込みがある。

- ① 1次仕込みは蒸した米を放冷し、これに麴をまぶし、42時間ほど温度調整して米麴を造る。ちなみに神川酒造では主に白麴を使用しているが、「瀬とろ」は黒麴である。
- ② これに水と酵母を入れ5日間ほど置くと発酵したものが1次もろみとなる。ここまではほぼお酒造りと同じ行程である。
- ③ 1次もろみに蒸した芋(一般にはコガネセンガン)を投入し、8日間、常にもろみの温度、気温(室温)、状態をみながら攪拌し、最適な発酵が進むように気をつけて発酵させる。蒸留前の理想のアルコール度数は14~14.5度とのこと。2次もろみのアルコール度数が1度低くなると蒸留した焼酎の出来きる量が変わる。もろみ1トン当たり200リットルが190リットルと効率が悪くなるという。科学的根拠はわからないが、不思議な現象であり、売り上げにも影響するので、2次仕込みの管理は非常



神川酒造の前で記念撮影

に重要な行程である。

- ④ 2次もろみを蒸留器に入れ蒸気を吹き込み、蒸留し、冷却して垂れて落ちてくるものが焼酎となる。最初の漬垂れといわれるものがアルコール度68~70度、最終的に平均して38度の焼酎となる。これを活水して25度とする。一定期間、甕やステンレスタンクで寝かすことでまろやかな焼酎に仕上がる。

神川酒造の仕込み期間は7月から11月中旬までとのことであり、忙しいなか対応していただいた。最後には参加者全員が神川酒造の焼酎を購入した。私は土着菌のコガネセンガンを使用した「やねだん」と普通のコガネセンガンを使用した「神川」とを飲み比べたいと思い「神川」を購入した。後日、味がストレートに分かるロックで飲み比べると、芋(コガネセンガン)の栽培の違いだけであるが、焼酎「やねだん」の方がまろやかに感じた。同じ製法で芋だけの違いであるが、味が幾分変化することに感動した。

帰りは鹿屋市で、いつも行列ができる「竹亭」でトンカツを食べ、台風が近づき、大雨のなか一路高速道路で鹿児島中央駅へ向かった。

参加者メンバー全員が「やねだん」のように行政に頼らない地域づくりの取組みに刺激を受けた。今後、八女市上陽町芋焼酎プロジェクトの活動を発展させるためにはもう少し「環」の販売本数を伸ばす方策、営業活動に取組んでいく必要があると思った次第である。

(やまだ たつお)

## 近 況

### **網** 一斉に水槽から魚を掬いあげる楽しい志賀島・弘の夕市

私は、志賀島・勝馬地区にある体験農園（百姓園）で野菜づくりをはじめて10年目を迎えます。勝馬には、ほぼ志賀島の東回りで往来し、午前中に作業を終え、帰宅していたので、弘地区に、ほとんど立ち寄ることはありませんでした。

弘の夕市は、お客さんが定着しているとの話を聞いていたので、これは見ておかなければと思い、8月26日に夕市を初体験してきました。

その日に水揚げされた魚を水槽に入れ、生きた魚を網で掬うらしいと聞いていたので、前日にホームセンターで網と保冷ボックスを購入しました。

弘の夕市は、志賀島西側の中央部に位置する弘漁港で毎月第2、第4土曜日の14時から開催している市場です。福岡市漁業組合弘支所が開始し、20年近くなるとのこと。

私が連れ合いと一緒に30分前に弘漁港に着くと、既に30～40人ぐらいの方が集まっていました。受付前には既に手提げカゴ（漁業組合指定）と網（持参）のセットが順番に並んでいます。夕市通いのベテランらしいおじさんに促され、よくルールがわからないままにカゴと網を置き、14時のスタート時間を待っているとさらに人が集まり、最終的に80人以上になっていました。

順番に並んでいるので、当然、10～20人ずつ、中に入れて魚を掬うものと思っていたのですが、なんとスタートの合図があると、一斉に水槽を取り囲み、掬い始めるではありませんか。これでは並んだ意味はないのではと思いましたが、早く水槽にたどりついたほど良いポジションをとることができ、狙いを定められます。また、あとの会計も待たなくて済みそうだとあとで気づきました。しかし、それも大きな差がないので、この適度な緩さは魅力的です。ファミリーで来ていた子どもたちは、飛び跳ねて魚掬いに夢中になっており、子どもたちにとっては非常に良い体験ができるイベントではないかと思います。



スタートの合図を待っているお客さん

私は、夫婦二人生活なので、イワシ4～5匹を掬えば良いと思っていましたが、周りの勢いに押され、イワシ8匹、小サイズのサバ2匹を掬い、さらに当日知り合いの方にイワシ6匹、サザエ5個いただきました。また、他に平籠に用意されているカマス4匹も購入しました。イワシ50円/匹、サバ20円/匹、カマス500円/4匹、千円でお釣りができるという安さでした。

イワシは南蛮漬け、カマスは塩焼きにしましたが、4日間はイワシ南蛮漬けを食することとなり、しばらくイワシは食べなくて良いと思った次第です。

活きの良い魚をたらふく食べたい方は、弘の夕市を一度訪ねてみてはどうでしょうか？

訪れる際は、魚を掬うための網、掬う際に足元は水浸しとなるのでスリッパ又は長靴を忘れないようにしてください。（山田 龍雄）

### **網** 阿蘇の秋と夏の景色を味わう

昨年の秋に初めて阿蘇の草千里を訪れた。

熊本インターチェンジで高速道路を下りて街の中を走り、いざ草千里を目指そうと栃の山を曲がり、山の坂道を車で登っていくと、黄金色で染まった景色の中に入った。11月頃だったので山の草が焼かれて草木が枯れた、稲穂のような秋を感じさせる色が山全体を覆い、ジブリのような異世界に入っていく気がした。車内で草千里に着く前から歓声をあげて、体を乗り出して景色を楽しんだ。

運よく快晴で、草千里の展望台では360度カルデラの壁（周囲の火山噴火後の山）がきれいに見えることで、カルデラの中に立っている事をより実感する



夏の阿蘇



秋の阿蘇

ことができた。中岳の火口の周囲を歩きながら写真を撮っていた。気づいたら3時間ほど時間が経過していた。海外にいる錯覚を起こすほどの雄大な阿蘇の景色に感動し、来年は夏のさわやかな緑色を全身で感じたいと思った。

そして今年の7月、夏の太陽光が緑色に反射してまぶしい阿蘇を歩いた。残念ながら曇り空で周囲の山の影がうっすらと見えるだけだったが、季節が違えば顔色が変わる山々、火山の噴火で生み出された地形は圧倒的な自然の力を感じさせる。今回は大観峰にも立ち寄った。山頂に立って見渡すと、山の頂上部分は草のみで裾野に木々が立ち並ぶ普段見かけることのない不思議な景色があり、都市である福岡から2時間ほどで行ける場所にこのような景色が存在する違和感を覚える。もしかしたら、私の実家の近く、例えば岐阜にも自然が生み出した不思議な景色があったのかもしれない、と思った。

日本にはまだ私の知らない、自然の力が生み出した情景が数多く存在することは、私の冒険心をくす

ぐる。まずは離島に行ったことがないので、きれいな海を中から、船上から体感したいと思う。

(酒見 知里)

### 身の回りの防災対策を

今年の梅雨も四国、近畿、東海、関東と広い範囲で線状降水帯が発生し、大きな被害が発生した。近年の自然災害の特徴として、激甚化・多発化が挙げられる。激甚とは、「たいそう激しいこと。はなはだしいこと」との意味である。確かに、私は40歳だが、子どもの頃の大雨と言えば台風くらいなものであった。しかし、今は違う。台風でなくても激しい雨が降る。令和4年版の防災白書には、1時間降水量50mm以上の年間発生回数の推移の資料があるが、そこからは増加傾向にあることが読み取れる。地球温暖化の影響と言われていて、おそらくこの傾向は続くだろう。

大雨だけでなく、地震についても、現在は南海トラフ地震や首都直下型地震の発生が指摘されている。過去の地震のサイクルからも、ここ30年間に起こる可能性が高いとされている。地震はいつ、どこで、どのような規模で発生するかわからないものだ。台風や大雨と同時に起こるかもしれない。まさに複合災害である。加えて、新型コロナウイルス感染症に代表されるように、感染症への備えも考えないといけない。

「災害は忘れた頃にやってくる」とは、戦前の物理学者・防災学者の寺田寅彦が残した言葉であるが、今や「災害は忘れる前にやってくる」である。事実、平成20年以降に限ってみると、ほぼ毎年、死者・行方不明者がいる災害が起こっている。この現実には、私も含めてどれだけの人がしっかり向き合っているだろうか。

ハザードマップを見たことがありますか？

住まいや職場近くの避難場所、避難所を知っていますか？

緊急時の連絡先や集合場所を家族と共有できますか？

火災保険や地震保険には加入していますか？

耐震診断・耐震補強は行っていますか？

警戒レベルはご存知ですか？

備蓄は準備出来ていますか？

災害時に最も大切なことは、まずは自分の命を守ること、怪我をしないこと。そのための準備をしっかりする。年に1度、身の回りの防災対策について考えてみませんか。 (山崎 裕行)

#### 【採】 アルパック業務報告会の開催

6月29日に、ネットワーク会社である(株)地域計画建築研究所(アルパック)(以下、アルパックとする。)とよかネットの共同で業務報告会を開催した。この会は、様々な分野の取組や専門知識への理解、事務所間の交流を深めることを目的としている。開催場所は、アルパックの事務所がある場所(京都・大阪・名古屋・東京・福岡)を順番に回っており、今回は九州事務所のある福岡で開催し、1部を現地研修、2部を業務報告会とした2部構成で行った。

1部の現地研修は、太宰府天満宮本殿の改修が行われている太宰府市を訪問し、太宰府天満宮の完成から現在に至るまでの歴史や、天満宮参道を活かしたまちづくりについて、太宰府市文化ふれあい館館長の城戸さんに講演をお願いした。講演を通して、太宰府の表記方法に使い分けがあることを知った。地名を表記する場合は「太宰府」、歴史・文化の資料等の場合は「大宰府」として表記することである。太宰府は、県内有数の観光地の1つであり、何度か訪問する機会はあったが、その歴史を更に深く知ることで、まちなみや建物1つ1つをこれまでとは違う目線で見ることが出来る。他都市についても、歴史を知ることから始めることの大切さを学んだ。

2部の業務報告会では、よかネット、アルパックがこれまでに取り組んだ業務をそれぞれ紹介した。これまでは、よかネットとアルパックとの連携は、産業や住宅が多かったが、最近は、環境や観光、交通など多様な分野に広がっている。

業務報告会終了後には、事務所間の交流を深めるため、事務所近くの飲食店を貸し切り、懇親会を行った。よかネット、アルパックから多くの人に参加し、地元料理を食しながら、初対面の方と話したり、報告会では聞けなかったことを聞いたり、充実した楽しい時間を過ごした。



太宰府市文化ふれあい館館長の城戸さんに太宰府の歴史についてご講演いただいた

今回の研修を通して、大阪事務所には、接する機会のなかった方とも交流ができ、これまで知らなかった分野の業務の話も聞いて貴重な経験が得られた。今後は、異分野の人との交流できる機会を活かし、色々な分野の人とのつながりを創り、経験したことのない業務分野にも携わりたいと思う。

(益戸 亮平)

#### 【採】 最近の北海道松前町は、福岡市よりも暑い

昨年度から、ご縁をいただき北海道松前町の観光に関するデータ収集・集計・分析や観光物産協会の立ち上げを支援している。その関係で、昨年からは定期的に松前町を訪れているが、今年度も8月25日・26日に現地に行った。

昨年の8月末に訪れた際は、福岡市より涼しく湿度が低く、夜は長袖が必要と感じたが、今年は湿度がとても高く、モワツとした重い空気を感じ、福岡市よりも体感で明らかに気温が高い。感覚としては、「火の国」熊本の真夏の気候に近い(なお25日の最高気温を調べてみたところ、福岡市は32.1℃、松前町は32.9℃だった)。

松前町役場水産課の方々にお話をお聞きしたところ、「水温上昇が原因と見られる養殖ナマコの死滅、潮溜まりに生息する水温変化に強いはずのつぶ貝の大量死といった水産業の被害が目立つ。60年近く生きてきたが、こんなことは初めて。」とおっしゃっていた。

#### ●北海道ならではの住環境により人的被害が拡大

北海道の住宅は冬期の寒波に耐えるために気密性が高く、冷房がある家庭が4割しかない(2021年

のウェザーニュースのアンケート調査 n=10,939)。

役場の方々によると、この夏は町内の高齢者が自宅で睡眠中に亡くなるケースが続いている。死因は「脱水症」とされるケースが多いそうで、人的被害も相当出ているようだ。

●「気候が激変する時代」の到来？

気象庁のHPで松前町の2022年8月19日～26日の一週間の最高気温の平均値を見ると26.3℃だが、2023年の同期間の平均値は32.2℃と、今年は5.9℃も高い。なお同期間の平均湿度は2022年が80%、2023年が87.7%で、今年と昨年の気候を比較すると、まるで別の地域のようなようである。

最近読んだ「人類と気候の10万年史」(中川毅著・講談社)という書籍に「水月湖に堆積した10万年分の花粉から期間中の気候を推測したところ、直近1万年間の安定した気候は例外的で、それ以前は10年のうち6～7年は異常気象(前年と平均気温が5℃以上違うような気象)が訪れる荒れた、予測不能な時代だった」と書かれていた。

松前町の昨年との気候の違いを体験すると、今が「気候が荒れた時代」に戻るタイミングなのではないかとすら感じたが、そうではないことを、そして、これ以上被害が広がらない事を願う。

(原 啓介)

■表紙解説

表紙ではR5年の上位10駅のみ載せたが、下表にあるように、18駅の路線価はすべて上昇している。

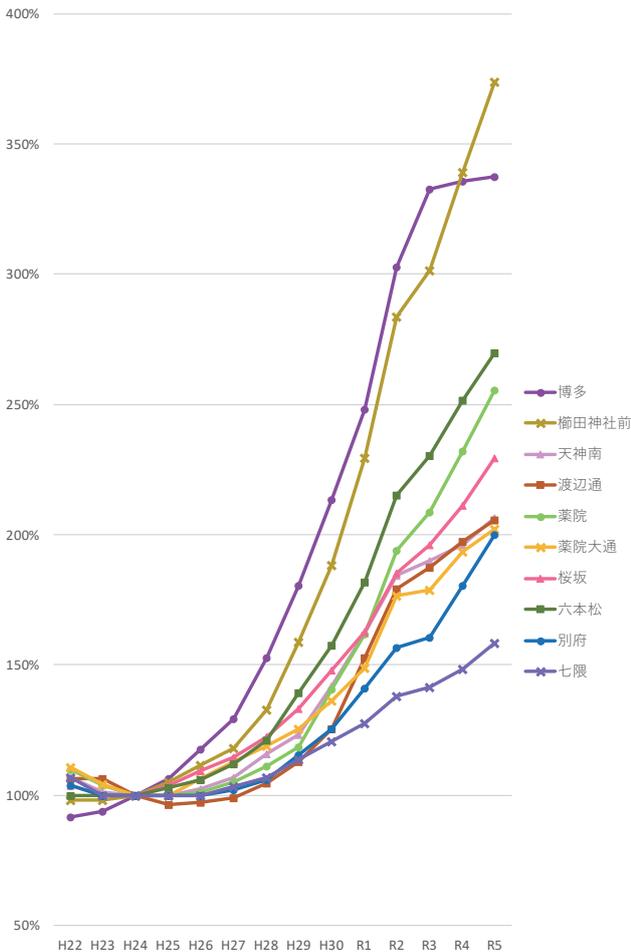
H23年の九州新幹線全線開業、R4年の西九州新

幹線開業、R5年の福岡市営地下鉄七隈線の延伸、また天神ビックバン、博多コネクティド等、交通の利便性向上及び都市開発による容積率拡大の影響が

表 七隈線駅周辺の路線価の推移 (単位：千円)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
博多	1,980	2,030	2,160	2,300	2,540	2,790	3,300	3,900	4,610	5,360	6,540	7,190	7,250	7,290
櫛田神社前	600	600	610	640	680	720	810	970	1,150	1,400	1,730	1,840	2,070	2,280
天神南	2,320	2,200	2,170	2,170	2,220	2,320	2,520	2,680	3,080	3,520	4,000	4,120	4,260	4,480
渡辺通	1,170	1,170	1,100	1,060	1,070	1,090	1,150	1,240	1,380	1,680	1,970	2,060	2,170	2,260
薬院	890	840	810	810	820	850	900	960	1,140	1,310	1,570	1,690	1,880	2,070
薬院大通	520	490	470	470	500	530	560	590	640	700	830	840	910	950
桜坂	280	270	270	280	295	310	330	360	400	440	500	530	570	620
六本松	330	330	330	340	350	370	400	460	520	600	710	760	830	890
別府	265	255	255	255	255	260	270	295	320	360	400	410	460	510
茶山	150	150	150	150	150	150	155	160	165	175	190	195	205	220
金山	165	160	160	160	160	165	165	175	185	195	210	215	225	240
七隈	155	145	145	145	145	150	155	165	175	185	200	205	215	230
福大前	96	96	96	96	96	99	100	105	110	115	120	120	125	130
梅林			87	87	87	88	89	89	90	93	98	98	100	110
野芥	125	125	125	125	125	130	130	130	135	140	150	155	160	180
賀茂	120	120	120	120	120	120	120	125	125	130	140	145	150	165
次郎丸	120	120	120	120	120	120	120	125	125	130	140	145	150	170
橋本			115	115	115	115	120	125	130	145	155	160	170	180
ビックバン	福岡市地下鉄七隈線延伸路線の決定	九州新幹線全線開業・東日本大震災発生	福岡市地下鉄七隈線延伸事業の鉄道事業許可	福岡市地下鉄七隈線延伸工事施工認可・着工	福岡市が国家戦略特別区域(創業のための雇用改革拠点)に指定、天神交差点周辺が「天神ビックバンエリア」と指定	熊本地震発生	福岡市地下鉄七隈線延伸工事に伴う道路陥没事故			博多コネクティド計画概要発表	新型コロナウイルスによる緊急事態宣言		西九州新幹線開業	福岡市地下鉄延伸七隈線開業

図 H24 年を基準とした増減率



大きいと思われる。

上図はH24年を基準とした各年の増減を表しており、R5年の上位10位までの駅を抜粋している。榎田神社前駅の伸びが想像以上に大きかった。商業地の中で意外に伸びていないのが天神南駅と渡辺通駅だが、高価格のエリアであることは変わらない。

当初は七隈線が延伸した影響で、利便性の高い場所を求める人が増え、マンションや住宅の需要が大きい駅の上昇率が高いのではないかと考えていたが、都心ほどではなかった。

天神ビックバンや博多コネクティッドによる再開発で都心はもちろん、住宅地の多い駅も便利になったことは間違いなく、まだ上昇すると思われる。

個人的には七隈線が博多駅まで伸びたおかげで、空港までのアクセスが良くなったことが一番嬉しい。

(佐伯 明日香)

## 新 人 紹 介

令和5年9月に入社致しました、宮川 武大(みやかわ たけひろ)と申します。

1998年生まれの鹿児島県薩摩川内市出身です。

私は高校の頃から建築について学び、大学では建築の中でも住宅を主に学びました。卒業研究でまちづくりに関する研究を行い、その際に地方に暮らしながら、地域を活性化させる為に活動をされている方々に話を聞き、人材不足など多くの課題があることを知りました。そのことから将来は微力ながら地域の活性化につながる仕事がしたいと考えておりました。大学卒業後は鹿児島県の工務店に就職し、木造戸建て住宅に関する業務を行っておりました。

ここに入社した経緯は大学生時代に通っていた際によかネットで半年程アルバイトをしており、その時から仕事内容が多岐にわたり、仕事を楽しそうにしている社員の方々に憧れ、入社を決めました。私自身、常に元気よく笑顔で過ごす事をモットーにしており、笑顔の多いこの職場に惹かれました。

私の趣味の一つとして古着を着るのが大好きです。休日は好きな服を着て、町を散歩すると、とても気分が良いです。また、最近のマイブームとして、新居に引っ越しをしたので、少しずつですが、インテリアを集めて楽しんでいます。欲しいインテリアが沢山ある中、引っ越しの際に「NyChairX(ニーチェアエックス)」を購入しました。それに座りながらコーヒーや芋焼酎を片手に読書をしている時間は至福の時です。



NyChairX(ニーチェアエックス)と私

す。次はニーチェアに似合うサイドテーブルが欲しくなり、日々探しています。

今後の目標として、業務をする中で様々な方々と関わる事で、多彩な分野に精通し、最終的に自分だけの武器を見つけ、極めていければと思います。

その為にまずは、普段の業務を学びつつ、様々なプロジェクトに関わりながら、スキマ時間で一級建築士の資格取得を目指し、日々精進いたします。

(宮川 武大)

かつま  
勝馬ルシェ開催 in 志賀島

今年度、志賀島でマルシェを開催します。

弊社は、福岡市農林水産局の「農山漁村地域における農林水産業振興ビジネス検討事業」のお手伝いをする事となり、志賀島勝馬地域の若手農家の方を中心とした、「勝馬地域での定期的なマルシェ開催」を目指しています。当日は弊社社員もマルシェ運営のお手伝いをしますので、お気軽にお越しください。

- 日時：10月28、29日  
12月23、24日  
3月23、24日（各土日）  
11時から16時
- 場所：喜多乃家（海の家）  
（住所：福岡市東区勝馬 257-4）

志賀島産のみずみずしい野菜や果物が並ぶ予定です。そのほか、海の中道にあるリゾートホテル、ザ・ルイガンズのシェフがプロデュースした美味しい軽食、スイーツなどを準備しております。

お子様にも楽しんでいただける企画も考えていますので、ご家族でもお越しいただけます。

喜多乃家は、志賀島北部の勝馬地域にあり、雄大で美しい海が見える素晴らしいロケーションです。

勝馬ルシェで、食と海をぜひお楽しみください。  
(酒見 知里)



会場の地図 (Google マップより)



会場の喜多乃家（海の家）(Google マップより)

お知らせ

「よかネット」の発行について  
現在、年4回発行している「よかネット」ですが、来年より年3回（1月、5月、9月）の発行に変更いたします。今後一層内容を充実させるべく取り組んで参ります。

よかネット No. 152 2023.10

(編集・発行)

(株)よかネット

〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3番8号  
福岡パールビル8階

TEL 092-283-2121 FAX 092-283-2128

<http://www.yokanet.com>

[mail:info@yokanet.com](mailto:info@yokanet.com)

(ネットワーク会社)

(株)地域計画建築研究所

本社 京都事務所 TEL 075-221-5132

大阪事務所 TEL 06-6205-3600

東京事務所 TEL 03-5244-5132

名古屋事務所 TEL 052-462-1030